大和証券グループ

2026年11月25日

各　位

会　社　名　　株式会社大和証券グループ本社
代表者名　　代表執行役社長　荻野　明彦

KDDI株式会社 サステナビリティボンド「KDDIつなぐチカラ債」発行のお知らせ

このたび、株式会社大和証券グループ本社傘下の大和証券株式会社は、KDDI 株式会社（以下「KDDI」）が発行するKDDI株式会社第45・48回無担保普通社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド※1）（以下「本社債」）の引き受けにおける事務主幹事及びStructuring Agent※2を務めましたので、その概要についてお知らせいたします。なお、KDDIがサステナビリティボンドを発行するのは2025年12月以来4回目となります。

KDDIは2026年5月、中期経営戦略（2026年度-2028年度）「Power-to-Connect 2028」を策定しました。また、KDDIは、中期経営戦略「Power-to-Connect 2028」の策定に伴い、ダブルマテリアリティ※3の考えに基づき、長期的な視点で社会課題とKDDIの経営の重要度を総合的に網羅した重要課題（マテリアリティ）を特定しております。これらの状況を踏まえ、KDDIは、マテリアリティのうち、「『つなぐチカラ』の進化」、「先端技術による共創」、「地域の魅力化」、「地球環境への貢献」などに向けた取り組みを推進するための資金調達の枠組みとして、サステナビリティファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を改定しました。本フレームワークに基づく調達資金は、中期経営戦略「Power-to-Connect 2028」やサステナビリティ経営を推進するための取り組みとして、5G関連投資を中心に社会課題の解決や地球環境の保全につながる事業に充当する予定です。

KDDIは、本フレームワークに基づく資金調達として、総額810億円のサステナビリティボンドである本社債を発行することとなりました。

本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則（GBP）2025」、「ソーシャルボンド原則（SBP）2025」及び「サステナビリティボンド・ガイドライン（SBG）2021」、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋地域ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）及びローン・シンジケーション＆トレーディング・アソシエーション（LSTA）の「グリーンローン原則（GLP）2025」及び「ソーシャルローン原則（SLP）2025」、環境省の「グリーンボンドガイドライン（2026年版）」及び「グリーンローンガイドライン（2026年版）」並びに金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン（2021年版）」との適合性に関し、株式会社格付投資情報センター（R&I）より評価を取得しています。

（詳細は以下のホームページをご覧下さい）
https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2026/11/news_release_suf_20261109_jpn.pdf

■本社債の概要

社債の名称	KDDI 株式会社第 45 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティボンド)	KDDI 株式会社第 48 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティボンド)
別称	KDDI つなぐチカラ債	
発行額	280 億円	530 億円
発行価格	各社債の金額 100 円につき金 100 円	
発行年限	3 年	10 年
利率	年 2.266%	年 3.305%
払込期日	2026 年 12 月 1 日	
償還期限	2029 年 11 月 30 日	2036 年 12 月 1 日
取得格付	AA(R&I)	
資金使途	サステナビリティファイナンス・フレームワークにおける適格プロジェクトである「5G 関連投資」に係る設備投資資金の一部に充当する予定	
主幹事証券会社	大和証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、野村證券株式会社	
Structuring Agent	大和証券株式会社	
財務代理人	株式会社三菱 UFJ 銀行	株式会社三井住友銀行

(※1) サステナビリティボンド

企業や地方自治体等が、国内外のグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクト双方に要する資金を調達するために発行する債券

(※2) Structuring Agent

フレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン等外部の第三者評価の取得に関する助言等を通じて、サステナビリティボンドの発行支援を行う者

(※3) ダブルマテリアリティ

企業の発展、業績、財政状態等といった企業財務に与える影響と、企業活動が外部の環境や社会に与える影響との二つの側面からマテリアリティを判断する考え方

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」のもと、引き続きステークホルダーの皆様と共に、金融・資本市場を通じた豊かな未来の創造および企業価値の向上に努めてまいります。

以　上

(ご参考) 大和証券グループのサステナビリティに関する取り組み：
https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress